

コード	20201017
記入日	H24.7.30

## 新規事業評価表【事前評価】

課コード	119
課名	建築課
課長名	法村 栄三
担当者	松岡 貢

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	今里地区埋立地整備事業
----------	-------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	202	施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備	項コード	5
基本事業コード	20201	基本事業名称	快適な住宅・住環境の整備	目コード	1
事務事業コード	2020101	事務事業名称	都市計画総務事業費	細目コード	81
関連計画		法令・条例規則等	都市計画法		

### 計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 住民 (対象2)	(対象指標1) 22,287人 (H24.6月末現在) (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
・今里地区開発行為変更申請書作成業務委託 1.0式 ・側溝整備 L=30m ・公園整備 A=460㎡	① 業務委託 1.0式 平成24年度 ② 整備工事 2工種 側溝 L=30m 公園 A=460㎡ 平成24年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
・開発行為の早期完了に向けて、今里地区埋立地整備事業を見直し、計画を縮小した開発行為変更許可申請を行うとともに必要最小限の整備を実施し、開発行為を完了させる。	① 工事進捗率 100% 実施事業費÷計画事業費 平成24年度 ②

### 実施 (DO)

	単位	全体計画		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		H 24 ~ H 24								
活動指標	① 式	1	1							
	② 工種	2	2							
成果指標	① %	100	100							
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	8,700	8,700							
直接事業費 A	千円	8,000	8,000							
人件費 B	千円	700	700							
内 訳	従事職員数	人	0.1							
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	8,700	8,700							

評価 ( CHECK )

評価項目	内 容
・事業の緊急性・必要性はありますか。	今里地区埋立地整備事業は、旧上五島町が平成14年に当初の開発行為許可を受けて進めてきたが、合併当初の厳しい町財政事情から事業見直しを余儀なくされ、平成26年度まで延長の計画変更を行っているが、事実上中断の状況である。平成23年度に県から現地視察を受け、開発行為を適切に早期完了させる旨指導があった。県の指導に沿って、開発行為完了に向け、平成24年度に計画変更し必要な整備をすることとした。
・事業の対象・目的は適切ですか。	都市計画法上、開発行為を適切に処理する必要がある。
・町が税金を投入して行う必要がありますか。	町有地の有効活用のための方策であり、税金で整備する必要がある。
1次評価 ・事業を行わない場合の影響はありますか。	事業を行わない場合、開発行為許可の適切な処理ができない。また、残地の活用についても、柔軟かつ迅速な対応がしにくい。
・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	開発行為変更申請書作成は専門知識を要する為、外注が必要であり、前回業者への依頼により、最安価で計上している。また、工事についても県建築課と協議し、公園については、住民の意見を聴取し、必要最小限の工事を計上しており、事業費の削減はできない。
・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	計画を見直し必要最小限の整備を実施し、開発行為変更申請を行い開発行為を完了させることにより、今後の利活用がスムーズになることから必要と判断する。有効的な利用が図られるよう協議すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。